

歴史的仮名遣い

中学校

次は、清少納言が書いた「枕草子」の一部とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【古文】 うつくしきもの。瓜うりに書きたるちこの顔。雀すずめの子の、ねず鳴きするに、をどりくる。二つ三つばかりなるちこの、いそぎてアは這ひ来る道みちに、いと小さき塵ちりのありけるを、目ざとに見つけて、いとをかしげなる指ゆびにとらへて、大人ごどに見せたる、Aいとうつくし。頭かしらはあまそぎなるちこのの、目に髪かみのイおほへるをかきはやらで、Bうちかたぶきて物など見たるも、うつくし。

【現代語訳】 かわいらしいもの。瓜に描いた幼児の顔。雀の子がちゅうちゅうとねずみの鳴き声をして呼ぶとおどるようにやってくるのも（かわい）。（また）一、二歳ぐらいの幼児が急いで這はつてくる途中に、（人の目につかぬような）たいそう小さいちりがあったのを、目ざとく見つけて、とてもかわいらしい指でつまんで、おとななどに見せているのは、まことにかわいいものである。頭の髪の毛を短くおかつぱに切りそろえてある幼児が、目のところまで髪の毛のおおいかぶさっているのをかきのけることもしないで、首をかしげて何かを見ているのも可憐かれんである。

- ① 線部ア「這はひ来る」イ「おほへる」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ② 線部A「いと」B「うちかたぶきて」の意味を現代語訳から抜き出さなさい。

①ア

①イ

②A

②B

歴史的仮名遣い

解答

次は、清少納言が書いた「枕草子」の一部とその現代語訳です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【古文】 うつくしきもの。瓜うりに書きたるちこの顔。雀すずめの子の、ねず鳴きするに、をどりくる。二つ三つばかりなるちこの、いそぎてアア這はひ来る道みちに、いと小さき塵ちりのありけるを、目ざとに見つけて、いとをかしげなる指およびにとらへて、大人おとなごどに見せたる、Aいとうつくし。頭かしらはあまそぎなるちこのの、目めに髪かみのイいおほへるをかきはやらで、Bうちかたぶきて物など見たるも、うつくし。

【現代語訳】 かわいらしいもの。瓜に描いた幼児の顔。雀の子がちゅうちゅうとねずみの鳴き声をして呼ぶとおどるようにやってくるのも（かわい）。（また）一、二歳ぐらいの幼児が急いで這はつてくる途中に、（人の目につかぬような）たいそう小さいちりがあったのを、目ざとく見つけて、とてもかわいらしい指でつまんで、おとななどに見せているのは、まことにかわいいものである。頭の髪の毛を短くおかつぱに切りそろえてある幼児が、目のところまで髪の毛のおおいかぶさっているのをかきのけることもしないで、首をかしげて何かを見ているのも可憐かれんである。

- ① — 線部ア「這はひ来る」イ「おほへる」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- ② — 線部A「いと」B「うちかたぶきて」の意味を現代語訳から抜き出さなさい。

①ア はいくる

①イ おおえる

②A まことに

②B 首をかしげて